

アグリ ノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ)

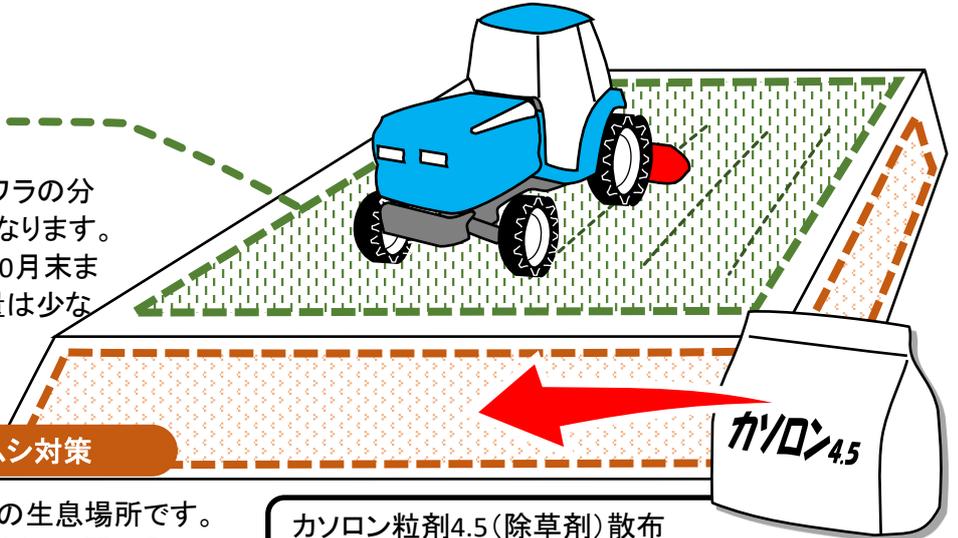
JA福井県

今年もハナエチゼン、コシヒカリの収穫を終え農家の皆さんは、各々腰を落ち着ける頃かと思います。各品種、倉前の出荷を終えて、収量や品質について状況が出てきています。今年の良かった点、悪かった点を振り返りながら来年の米づくりに向けた準備をしていきましょう。

1. 次年度の米づくりに向けて

① 秋起こし(メリット)

地温が高い時期に秋起こしを行うとワラの分解が早くなり圃場にガスが残りづらくなります。春起こしだけするよりも、秋起こしを10月末までに行くと、春に有害なガスが出る量は少なくなります。



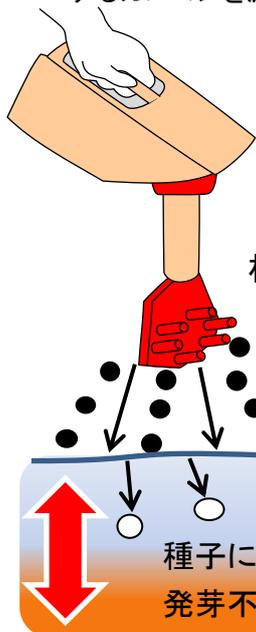
② 翌春の畦畔管理の省力化とカメムシ対策

畦畔・農道の雑草はカメムシの絶好の生息場所です。確実な雑草対策で越冬カメムシを死滅させ翌年発生するカメムシを減少させましょう。

カソロン粒剤4.5(除草剤)散布

- 薬剤の残効が長く翌春の雑草管理の手間が省ける。傾斜地処理も土壌吸着が良いので散布部分でピツリ止まります。
- 散布時期は、最高気温は15度以下になる頃を目安に均一に散布。高温時の散布は有効成分が揮発(ガス化)し効果が劣ります。

★ 散布
粒状スプレーヤーを使用して、
均一に散布しましょう。



冬(11~12月)

根から吸われる

種子に作用して、
発芽不能にする

枯れはじめる

春(5~6月頃)

雑草の発生を抑える
(カメムシの発生減)

雑草の種子が不活性化し
春に発生しない。

2. アンケート調査について

【アグリノート田園・菜園アンケートQRコード】



スマホでQRコードを読み取り、
アンケートにご協力をお願いします。

今年度、JA福井県では営農情報の発信強化として、アグリノート田園・菜園を作成・発行してきました。発行は各地区の若手営農指導員が持ち回りで資料作成をしました。今後、より良い営農指導への取り組みの参考としてアンケートへのご協力をお願いします。



今回のアグリノート田園は、福井西部支店 営農経済課 宮崎が担当しました。